

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 3月 13日

事業所名 まなびクラブ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			当施設の指導訓練室は、約73㎡あります。国の設備基準である児童一人当たり4㎡以上×定員10名の40㎡以上の広さを用意しております。
	2	職員の配置数は適切である	○			国の人員配置基準に加え、加算要件を満たす人員配置を行っております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			施設内に段差のないバリアフリーとなっております。バリアフリースイモも完備しております。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			PDCAサイクルを心掛け、毎週の職員ミーティングと毎日の朝終礼を行っております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○		今年度より保護者向け評価表を活用し、保護者の意向の把握に努めてまいります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		今年度よりHPにて公開してまいります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在は利用者と社内の評価のみとなっておりますが、今後必要に応じて実施を検討してまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○		外部研修への参加や事業所内での研修も行っております。多くの職員がそれぞれの専門性を研鑽していけるよう奨励しております。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			見学や体験時、又は送迎の際にニーズを把握したり、行動観察を記録し、支援計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			必要に応じて利用者が発達センターや医療機関で行った検査結果をお持ちいただき発達状況を把握しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			ミーティングでは複数の職員様々な職種の視点で参加者の行動や心理面を捉え、支援の仕方や活動の進め方等の検討につなげています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			児童やグループの特性によって内容を変化させたり、季節の活動を取り入れたり固定化しない為のプログラム立案に努めています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			毎日、児童ごとに用意された専用のスケジュール表を活用し、利用日や個別の特性に応じた課題の提供に努めております。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			個別の課題・集団活動それぞれの育ちを踏まえて、個別支援計画を作成しております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			支援前後の朝終礼にて、必ず支援の確認と振り返りを行います。情報共有や記録も適切に行い、支援の検証・改善に努めております。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			概ね6ヶ月に1度、モニタリングを実施し、支援計画の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○			日々の活動スケジュールの中で、自立活動・創作活動・余暇活動・地域交流の機会など、複数の活動を提供しております。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			必ず管理者や責任者が出席しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○			基本的には保護者を通じて情報共有を行っていますが、必要に応じて直接の連絡調整も行います。担当者会議が開催される場合には参加させていただいております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		今年度は該当者がいませんでした。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			移行支援会議等に参加させていただくことで、情報共有や相互理解に努めております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		情報提供を行う体制は整えております。今年度は該当者がいませんでした。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			専門機関主催の研修に参加し、必要に応じて助言をいただいております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○	地域交流のなかでも、外部の児童との交流は難しい状況となっております。利用者の状態も考慮し、要望や必要性があれば考慮してまいります。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		○		開催があれば積極的に参加させていただいております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			連絡ツールを用いて毎日情報共有を行っています。必要に応じて、その日の様子を直接フィードバックしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		放課後等デイサービスの保護者向けペアレントトレーニングは行っていませんが、保護者会の実施や相談支援加算、連携加算の対象を行っています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に必ず説明を行っています。不明な点に関する問い合わせにも随時対応し、丁寧な説明を心掛けております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			相談に対し適切に対応し、要望や必要に応じて連携加算や相談支援加算の対象も行っていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			年2回の保護者会を開催し、交流の場を提供しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情があった場合、苦情受付・解決担当につなげ迅速かつ適切に対応するよう努めています。また社内で共有し再発防止につなげます。

保護者への説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		活動内容の記録は、毎日保護者へ連絡ツールを活用しお知らせしています。 行事予定や連絡方法は毎月情報発信を行っています。
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報が記載された書類は鍵付き書庫にて保管しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		利用者や保護者に伝わりやすい方法を工夫し、複数の手段を用意しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	今年度オープンの新規事業として開所式や内覧会を開催し、地域の方々にも参加していただきました。 今後も地域の中の事業所として可能な形で、開かれた事業所運営に努めます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		保護者には契約時に説明し、職員には会議や社内研修を通じて周知しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的（年2回）に訓練を行い、活動予定として保護者にも事前通知しております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		外部の研修にも参加し、社内での研修も行っています。 終礼時の確認項目として毎日確認を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	契約書にて記載し保護者には事前に説明を行っています。 また対象の場合には、記録を残すこととしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		食物アレルギーの有無や対応に関して、医師の診断に基づき保護者より情報提供をいただいております。 また必要に応じて、服薬・投薬・緊急搬送先の取り決めを保護者と行っています。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事例があった場合には報告書に記載し対策を共有しています。	